

平成30年度

支笏洞爺ニセコルート 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート		報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清					報告年月日:2019/3/31		
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H30					活動状況資料番号	総括	
		活動名	主催	活動実施日	参加人数				
景観 (ウエルカム北海道エリア)	来訪者をもてなすウエルカムルートの創出	エリアインフォメーションシステムの検討	-	-	-	-		ウエルカム北海道エリアの景観づくり活動として、支笏湖での春・秋の清掃活動、恵庭インターチェンジ、新千歳空港周辺でのおもてなしの花植活動が定番化している。千歳ウエルカム花ロードでは、昨年度に引き続き、クラウドファンディング挑戦し、目標達成率152%と多くの方に応援いただき、花苗約4000株の増加で国道部が繋がり全長約8kmが実現した。今後も引き続き、各地域で定番化した活動を継続し、ウエルカム北海道エリア一体となった景観づくりを進めていきたい。	
		エリアマップの作成	-	-	-	-			
			-	-	-	-			
			-	-	-	-			
	北海道らしい清らかな水を印象づけるみちづくりの促進	支笏湖の湖面利用に関する規制	-	-	-	-			
		水辺の眺望ポイントの整理	千歳川眺望ポイントの調査	国立公園支笏湖運営協議会・千歳川河川事務所	平成30年11月20日	6名			
		河川や湖面、沿道の清掃 (*清掃活動の推進)	453(ヨコサ)530(ゴミゼロ)キャンペーンin支笏湖	NPO法人支笏湖まちづくり機構 Neoステージ	平成30年5月30日 平成30年9月28日	約120名 (主催者側5名、一般参加者115名)	S W 1		
			ゴミゼロの日クリーンウォーキング	市役所ボランティアサークル・シボラ	平成30年5月30日	約5,000名 (主催者側50名、一般参加者4950名)			
	花とみどりによる四季の感じられる景観形成	みどりのマイルストーン(道標)の整備	-	-	-	-			
		ウエルカムゲートの整備促進	恵庭岳公園線植えるカム花ロード	恵庭市(建設部管理課)、北海道(空知総合振興局 札幌建設管理部 千歳出張所)、えにわシーニックプロジェクト	平成30年6月16日	約100名(主催側15名、一般参加85名)			
			Welcome to Hokkaido 千歳ウエルカム花ロードver.16	千歳ウエルカム花ロード実行委員会(社団法人千歳青年会議所他)	平成30年5月10・11・17・18・21日(土起こし)、5月22日(授業・植栽)、7月10日・8月28日(除草)、10月30日(撤去作業)	約560名 (主催者側138名、一般参加者422名)	S W 2		
				-	-	-	-		
		花とみどり(紅葉する樹木)の植栽		-	-	-	-		
				-	-	-	-		
エリアの景観ルールづくり 看板やノボリの撤去	秀逸な道バスツアー、ワークショップ in支笏湖	ウエルカム北海道エリア運営代表者会議・行政連絡会議	平成30年7月10日	38名	S W 3				

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清	報告年月日:2019/3/31
------------------	-----------------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H30					総括		
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号			
景観 (ニセコ羊蹄エリア)	眺望ポイントの調査	「秀逸な道」に関する現地調査	ニセコ羊蹄エリア代表者会議	平成30年7月24日	23名		景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われており、活動を継続することで少しずつ取組の幅が広がり、サポートメンバーも徐々に増えている。羊蹄山麓広域景観推進協議会にて景観づくりに関する検討を継続している。各地域で子ども達と一緒に活動が目立っている。		
		「みらいの森」での育樹活動	ニセコ羊蹄エリア代表者会議	平成30年9月29日	50名	S N 4			
		神仙沼周辺の沿道の清掃活動	-	-	-	-			
	エリアのシンボルの羊蹄山を彩り美しく見せる	花と緑の植栽	綺羅街道沿道植栽	NPO法人ニセコマちづくりフォーラム	平成30年5月29日	120名(主催者側40名、一般参加80名)			
			フラワーロードユリ植え	村づくり研究会	平成30年6月3日	80名		S N 2	
			喜茂別町「花いっぱい運動」	NPO法人きもべつWAO	平成30年6月23日	30名			
	四季折々の表情を見せる田園景観を保全する	廃屋の撤去	-	-	-	-			
		フォトコンテスト	-	-	-	-			
	尻別川などの自然豊かな水辺の景観をつくる	河川周辺の清掃や管理	5町連携による尻別川・羊蹄山周辺合同維持管理(草刈等)	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会/京極町景観を考える会/NPO法人きもべつWAO/村づくり研究会/ニセコリゾート観光協会ほか	平成30年7月24日	60名		S N 3	各地域で景観づくりや保全の取り組みが定着・浸透しており、行政機関同士の情報共有、情報交換を継続していく。
		河川景観の保全と河畔林の創出	尻別川クリーン作戦	NPO法人しりべつリバーネット	平成30年6月16日	300名			
散策路・フットパスの整備		フットパスウォーク2018in真狩村	NPO法人しりべつリバーネット	平成30年5月27日	120名	S N 1			
エリアの景観ルールづくり 看板やノボリの撤去		-	-	-	-				

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート		報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清					報告年月日:2019/3/31		
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H30					総括		
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号			
景観 (洞爺湖エリア)	洞爺湖に彩を添える	眺望ポイントの調査研究	「秀逸な道」区間の現地調査	協働型インフラ会議(洞爺湖エリア)	平成30年6月21日	21名	S T 2	洞爺湖エリアにおいては、地域活動団体を中心として沿道景観づくりの検討が進められており、景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われている。また、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会等と関連して行政機関との連携体制も構築されている。今後は継続に向けて各種広報媒体を活用した活動紹介・周知や活動周知に向けた行政への働きかけ、事務局機能のさらなる強化等が必要である。	
		洞爺湖畔の清掃・彫刻の管理	MOVE洞爺湖2018～花壇整備	一般社団法人洞爺湖温泉観光協会/AIR-G'	平成30年4月28日	250名			
		花と緑の植栽	MOVE洞爺湖2018～花壇整備	一般社団法人洞爺湖温泉観光協会/AIR-G'	平成30年4月28日	250名			
		伊達市・洞爺湖町・壮瞥町(国道230号・道道578号・道道66号・道道132号・道道2号)の清掃活動	1008 453(とうや よごさん)キャンペーン2018	支笏洞爺ニセコルート 代表者会議(洞爺湖エリア)	平成30年9月1日	70名	S T 3		
	温泉街らしさを演出する	洞爺湖温泉の花・プランター整備	MOVE洞爺湖2018～花壇整備	一般社団法人洞爺湖温泉観光協会/AIR-G'	平成30年4月28日	250名			継続的な活動が展開されており、引き続き、継続展開が必要。
		湯煙のあるまちづくりの推進	洞爺湖温泉夏祭り	一般社団法人洞爺湖温泉観光協会	-	-			
			洞爺湖温泉薬師の日「湯かたまつり」	一般社団法人洞爺湖温泉観光協会	-	-			
			洞爺湖温泉冬まつり	一般社団法人洞爺湖温泉観光協会	-	-			
	温泉街のサインの統一	-	-	-	-				
	果樹園などの田園景観を整える	くだもの村の統一看板の設置	実施済み	-	-	-			1008 453(とうや よごさん)キャンペーンについては、年々、参加者数が拡大傾向にあり、町内外からの参加も多数。一方で、参加者拡大に伴う事務局の対応など、今後の展開に向けた検討が必要。
馬の歩く道景観づくり		-	-	-	-				
花和地区の花壇整備		-	-	-	-				
よごさん(453)キャンペーンの実施		1008 453(とうや よごさん)キャンペーン2018	支笏洞爺ニセコルート 代表者会議(洞爺湖エリア)	平成30年9月1日	80名	S T 3			
花による沿道の演出		沿道美化活動	-	-	-				
エリアの景観ルールづくり 看板やノボリの撤去	道路周辺等の雑木駆除を生かした観光振興実験	協働型インフラ会議(洞爺湖エリア)	平成30年6月11日	30名	S T 1	協働型インフラ会議において、景観保全に関する議論が継続的に行われており、引き続き、道路付属施設の改善等、地域協働による検討を進めていく。			

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート		報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清					報告年月日:2019/3/31	
地域 (ウェルカム北海道エリア)	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H30					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
地域 (ウェルカム北海道エリア)	地域資源の発掘と保全活用	支笏湖タウンマップの作成						今年度の地域づくり活動は、継続活動の花マップと、花ロードの特別授業に加えて、環境省が展開する国立公園満喫プロジェクト2年目として、支笏湖での「おもてなしの地域づくり」ミーティングを開催した。 活動開始から10年以上が経過し、行政機関や関係団体など地域の課題解決に向けた検討・実践を進め、今後のウェルカム北海道エリアでの地域づくり活動について、検討していきたい。
		旧ユースホステルの保全・活用						
		歴史や文化的資源も含めた地域資源の発掘と活用						
		タウンウォッチングなどによる地域資源の発掘						
	地域の資源を活かしたコミュニティビジネスの創出	地域ブランド化の検討	「恵み野花マップ」の制作による地域ブランドのPR	社団法人恵庭観光協会発行(えにわシーニックプロジェクト企画)	平成30年度(春季)	発行部数		
		手づくり品・オリジナルポストカードの制作						
		コミュニティビジネス研究						
	交流と連携による地域づくりの推進	子ども・住民向け文化事業の推進・活動参加のしくみづくり	ここからはじまる北海道千歳ウェルカム花ロードver.16特別授業	花ロード実行委員会	平成30年5月22日	①緑小学校75名(主催10名、小学生他78名) ②千歳小学校51名(主催10名、小学生他41名)		
		各研修会などの開催	花ロード実行委員会	花ロード実行委員会	4月24日 2月5日	各24名		
		タウンミーティングの開催	国立公園満喫プロジェクト「おもてなしの地域づくり」ミーティング	国立公園支笏湖運営協議会	4月19日、5月15日、7月10日、8月16日、9月3日、10月22日～25日、11月22日、12月25日、1月18日、2月12日	各18名	S W 4	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート	報告者: 支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清	報告年月日: 2019/3/31
-------------------	------------------------	------------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H30					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
地域 (ニセコ羊蹄エリア)	歴史や文化資源も含めた地域資源の発掘と活用	ショートフィルム映画祭、絵画教室の開催	-	-	-	-		後継者不足が課題としてあったが、近年は、小学生との連携や若手人材の活動への参加など、持続可能な体制の構築が図られてきている。
		音楽コンサートの開催	シーニックナイト2019inくつちゃん	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会	平成31年2月16日	40名		
		地域資源の発掘・活用	教育環境プログラム「シーニックナイトキャンドルづくり」	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会	平成30年度	50名		
			タカラモノプロジェクト2018	-	-	-		
	地域コミュニティを大切にしたい地域づくりの推進	地域の人々と連携した活動の推進	各自治体での清掃活動					各自治体の主体による清掃活動や環境保全に関する取組みが定着してきた。引き続き、継続に向けた実施・検討が必要。
			教育環境プログラム「廃油や使用済みのろうそくを再利用したキャンドル制作」	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会	平成30年度	50名		
			南しりべし「道の駅」スタンプラリー					
			羊蹄山ろく「道の駅」スタンプラリー					
	地域の人材の育成と活用	タウンミーティング・研修会の開催	真狩地域クラウド交流会	NPO法人しりべつリバーネット	平成31年3月19日	152名		
	地域 (洞爺湖エリア)	エリアの資源の発掘と保全活用	エリアの資源の研究会の開催	昭和南山登山学習会	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成30年4月21日	50名	
地域資源マップの作成			洞爺湖エリア・ドライブマップ／ヒヤリ・ハットマップの作成	-	-	-		
エリア産業の活性化		コミュニティビジネスの研究	ワンストップサポート事業の推進	-	-	-		
		地産地消の推進	[胆振の国(いぶりのくに)食ブランド化プロジェクト	-	-	-		
			洞爺湖有珠山ジオパーク「フードパス」	-	-	-		
			そうべつりんごまつり	-	-	-		
		保養型温泉観光の推進	-	-	-			
		体験型農業の推進	-	-	-			
エリアの人材育成		NPO化に向けた研修会の開催	-	-	-	-		
		地元の学校と連携した活動の推進	昭和南山登山学習会	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成30年4月21日	50名		
		エリア人材登録制度の検討	洞爺湖有珠山火山マイスター養成講座	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成30年度	20名		
		タウンミーティング・シーニック塾の開催	ジオパーク講座「SDGsで遊ぼう！」	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成31年3月3日	40名		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清	報告年月日:2019/3/31
------------------	-----------------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H30					総括	
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号		
観光 (ウェルカム北海道エリア)	周辺の田園地帯や水資源を活用した魅力づくり	ファームイン・体験農園との連携の検討						観光空間づくり活動も定番化している。継続して実施しているシーニックナイトは、各地域で広がりを見せ、恵庭市内11箇所、千歳においては、支笏湖、千歳市街の道の駅等で実施している。 フェイスブックにおいては、日々移り変わる自然風景や、ちょっとした日常など、地元目線の発信を続けており、閲覧者も増えている。 今年度は、エリア周遊の検討として、千歳市・恵庭市・北広島市が連携した外国人ドライブ観光の推進に向け、外国人を対象とした周遊ドライブコースの検討を行った。 観光空間づくりにおいても、これまでの活動実績を踏まえ、新たな展開を検討していきたい。
		食をテーマにした特産品の開発・地域連携の推進						
		エリア企業との連携による魅力づくり	えにわシーニックナイト	えにわシーニックナイト実行委員会	平成31年2月2日、3日、9日、10日	約4200名(主催者1020名鑑賞者約3180名)		
		千歳リバープロジェクト2018	一般社団法人千歳青年会議所	平成30年8月25日、26日	延べ6300名	S W 5		
	エリアの魅力を伝えるイベントなどの開催	サンセットコンサート・クリスマスイベントの開催						
	エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	観光コミュニティバスの実験運行						
		ホームページの作成	FaceBookを活用した情報発信	ルート代表者会議	平成29年度継続実施	701名		
		エリアの周遊の検討	ウェルカム北海道エリア 外国人ドライブルート検討	—	—	—		
		トレジャーハント等の実施						

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清	報告年月日:2019/3/31
------------------	-----------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H30					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
観光 (ニセコ羊蹄エリア)	農産物など地場産品を活用した魅力づくり	食(農産物)の活用と売り込み	アンテナショップ「くっちゃんマルシェゆきだるま」の継続展開	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会	平成30年度	—		倶知安町にアンテナショップ「くっちゃんマルシェゆきだるま」が開設し、地域住民と来訪者の交流の場、地場産品の販売の場として展開している。今年度は小樽市内のホテルやレストランでの直売やファームボックス設置により、販売経路を広げる取組を行った。今後は適切なニーズの把握やより一層の販売経路の確保等についての検討が必要である。
			イベント情報等の発信	—	—	—		各種イベントなど様々な取組について、従来のHPでの情報発信のほか、平成24年度開始したルートのfacebookでの情報発信を継続している。
	ニセコをPRする冊子(英語・中国語)の作成	—	—	—	—			
	エリアのホームページの作成	FaceBookを活用した情報発信	支笏洞爺ニセコルート	平成30年度	—			
	地域とのふれあいを大切に観光の推進	地域の歴史などに基づいたツアーの開催	地域の歴史などに基づいたツアーの開催	—	—	—	—	ニセコ羊蹄エリアを中心として広域展開されてきたエキノコックス駆除活動は、継続的に実施されている。
			地域の歴史・文化を伝える語りべの会の開催	講演会「地域と人をつなぐ川の生きものたち」	NPO法人しりべつリバーネット	平成31年3月3日	50名	
			ふれあいのある体験ツアーの企画開催	ニセコ湯めぐりパス	株式会社ニセコリゾート観光協会	平成30年度	—	
			シーニックデッキ・カフェの設置	シーニックデッキin八幡	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会	平成30年度	—	
			シーニックバスの運行	—	—	—	—	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート		報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清					報告年月日:2019/3/31	
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H30					総括	
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号		
観光 (洞爺湖エリア)	「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	おもてなしキャンペーンの実施	有珠山頂夜まつり	—	—	—	「La.toya(広域パンフレット)」の作成において、次年度発行される冊子の表紙にシーニックバイウェイのロゴマークが挿入され、補完的な情報提供につながった。	
		温泉街ガイドブックの発行	洞爺湖エリア・ドライブマップ／ヒヤリ・ハットマップの作成	洞爺湖地区協働型道路管理マネジメント会議	—	—		
		シーニックデッキの設置	洞爺湖マルシェ 湖畔カフェ	—	—	—		
	資源と人材を活かしたエコミュージアムの形成	フォトコンテストの開催	カフェにまつわるフォトコンテスト	支笏洞爺ニセコルート代表者会議	平成30年9月1日～12月31日	76名	地域の魅力ポイントをめぐる体験ツアーとして、今年度「カクレモノ☆プロジェクト」をfacebook利用者にターゲットを絞り、試行実施した。今後も地域資源の活用方法やその仕組みを継続していく。	
		エコミュージアムガイドブックの発行	洞爺湖エリア・ドライブマップ／ヒヤリ・ハットマップの作成	洞爺湖地区協働型道路管理マネジメント会議	—	—		
		エコミュージアムツアーの企画・運営	知られざる壮瞥滝の秘密を探るツアー	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成30年度	20名		
			冬をめぐるフリーパス(T-Pass)	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成30年度	20名		
		ターゲットを絞った散策・体験ツアーの企画運営	カクレモノ☆プロジェクト	—	—	—		
		エリア人材バンクの設立	—	—	—	—		
	洞爺湖エリアの観光サービス機能の充実	マップ・パンフレットの作成	洞爺湖エリア・ドライブマップ／ヒヤリ・ハットマップの作成	洞爺湖地区協働型道路管理マネジメント会議	—	—	各種イベントなど様々な取り組みが展開されている。また、洞爺湖エリアの「食」を推進し、合宿等の誘致等とあわせ、産業の活性化を図っているが、今後さらなる検討が必要。	
		物産展の開催	そうべつりんごまつり	—	—	—		
		花和地区の花壇整備	—	—	—	—		
		ホームページやエリアマップなどでの情報発信	FaceBookを活用した情報発信	支笏洞爺ニセコルート	平成30年度	—		
	シーニックバスツアーの企画・運行	—	—	—	—	—	—	
	エリアの資源を活用した複合ツアーの企画	冬をめぐるフリーパス(T-Pass)	—	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成30年度	—	—	
イベントの企画・運営	—	—	—	—	—	—		
人材育成のための研修会などの開催	火山マイスター制度	—	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成30年度	—	—		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清	報告年月日:2019/3/31
------------------	-----------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H30					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
観光 (ルート連携)	ルートを対象としたイベントの企画・実施	支笏洞爺ニセコルートをつなぐ「シーニックナイト2019」	シーニックナイト2019実行委員会	平成31年1月26日～2月17日	1000名	S T N	平成30年度の開催地は、壮瞥町、洞爺湖町、千歳市市街・支笏湖、恵庭市、京極町、喜茂別町、倶知安町、ニセコ町、赤井川村、小樽市の9市町村で実施。コンサートやイベントとの同時開催など各地での取り組みが多様化する一方、10年を超える継続開催地も多数となり地域の取り組みとして着実に浸透してきている。	
		支笏洞爺ニセコ “タカラモノプロジェクト” “カクレモノプロジェクト”	支笏洞爺ニセコルート代表者会議	—	—	—	支笏洞爺ニセコルート内で、これまで捨てられていたモノや見向きもされなかったモノに『光』をあて、“新たな付加価値”をつける。宝ものプロジェクト。平成24年度から継続的にメニュー作成、商品開発、実際にシーニックカフェでの提供などを行っている。	
		—	—	—	—	—		
	エリア全域を対象とした「環境」に対する取り組みの推進～シーニックの森づくりの推進～	—	—	—	—	—		
	特定テーマによるルートプロモーション活動	子ども向け普及啓発資料の検討	支笏洞爺ニセコルート代表者会議	平成30年度			シーニックバイウェイ北海道及び支笏洞爺ニセコルートの認知度向上と次世代を担う子どもたちへの伝えることを目的とした普及啓発資料の作成を継続。	

『453・530（ヨゴサン・ゴミゼロ）キャンペーンin支笏湖』

- 【概要】 453（ヨゴサン）キャンペーンは、春の5月30日（ゴミゼロ）と秋の9月30日に、支笏湖温泉から丸山分岐までの国道453号のゴミ拾いを行います。早朝の支笏湖で綺麗な空気を吸いながらの清掃活動です。シーニックバイウェイ試行当初からの継続活動で14年目を迎えました。活動当初は、50名程の参加者であったのが、企業や団体等のボランティア参加が少しずつ増え、総勢100名を越える活動となりました。また、年々活動に参加いただける団体が増え、人数も増えていることから活動範囲を延長して3.0kmを実施しました。
- 【日時】 平成30年5月30日、9月28日 午前6時30分～7時30分
- 【場所】 （集合）千歳市支笏湖温泉街 支笏湖駐車場（バスターミナル）前
（実施場所）国道453号支笏湖温泉～苫小牧市丸山分岐
- 【主催】 NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ
- 【協力】 支笏湖自治振興会・支笏湖旅館組合・支笏湖商工会・支笏湖高齢者クラブ・支笏湖恵岳会・支笏湖小学校PTCA自然公園財団支笏湖支部・千歳市・札幌開発建設部
- 【参加人数】 春：120名、秋：120名



『千歳ウェルカム花ロードver.16』

- 【概要】** 年間約2000万人の乗降客を有する新千歳空港。北海道を訪れた方々を、小学生や地域の方々と一緒に植えた花の道で歓迎し、子ども達におもてなしの心を育もうと、シーニックバイウェイ北海道支笏洞爺ニセコルートで、毎年5月に千歳ウェルカム花ロードの活動を行っています。平成15年、千歳青年会議所の発案により「千歳エアポート花ロード36」がスタート。平成19年、国・道・自治体が連携した「千歳ウェルカム花ロード」と共同し活動を継続、今年度は16周年を迎えました。黄色のマリーゴールド 約33,000株を植栽し、総延長約8kmとなる花ロードが完成し、来道者のみならず、たくさんの方々の目を楽しませてくれました。
- 【日時】** 花ロード特別授業（緑小学校、千歳小学校）
花植え：5月22日 除草：7月10日、8月28日
- 【場所】** 千歳市（JR南千歳駅前国道36号周辺、JR千歳駅前、道道千歳インター線、道道新千歳空港インター線、道央道千歳IC料金所周辺、新千歳空港構内道路ほか）
- 【主催】** 千歳ウェルカム花ロード実行委員会
- 【参加人数】** 植栽560名、授業119名



クラウドファンディングにチャレンジ！
目標達成率152%（23名・304,000円）
が集まり、花苗約4000株を増やすことが出来ました。



▲植栽直前の特別授業。道路に関する授業・花ロードに関する授業・花植体験授業を担当者から説明



▲(株)北海道日本ハムファイターズとの連携によりマスコットのB★B君が応援に来てくれて子ども達と一緒に植栽



▲植栽の約2ヶ月後におこなった除草作業風景



▲北陸地域の日本風景街道活動団体が集まる「北陸風景街道交流会議」にてクラウドファンディングによる資金調達を含めた活動紹介

【概要】 「秀逸な道」試行区間である千歳市幌美内（L=7km）において、景観を阻害する要素などの改善点を把握するための現地診断バスツアーを実施。バスツアー後には現地診断した結果を踏まえて、道路附属物等の改善（ハード）に加えて、プロモーションや地域活動（ソフト）についての提案や議論をワークショップ形式で実施。

実施に当たっては、積極的に提案や議論出来るようにルートと行政とが一体となるようにグループ分けを工夫しました。

議論の後は各グループにおいて発表会を行いました。

【日時】 平成30年7月10日（火）14:00～17:30

【場所】 （バスツアー）国道453号 秀逸な道試行区間
（ワークショップ）千歳市市民センター

【主催】 シーニックバイウェイ北海道支笏洞爺ニセコルート
ウエルカム北海道エリア運営代表者会議・行政連絡会議

【参加人数】 38名



■秀逸な道の試行区間
国道453号千歳市幌美内L=7km



▲バスツアー バス車内の様子



▲ビューポイントパーキングにおける現地診断状況



▲ワークショップにて提案や議論を実施



▲各グループにおける発表会の様子



▲道路管理者からは道路附属物の改善予定を説明(マイナス～ゼロへ)

『国立公園満喫プロジェクト展開事業：おもてなしの地域づくり』

- 【概要】 環境省が展開する国立公園満喫プロジェクトの対象地域として、千歳市及び国立公園支笏湖運営協議会などに関わるメンバーにて実践してきた「支笏湖まちづくりビジョン（2004）」を元に、2019年のラグビーW杯、2020年の東京オリンピック・パラリンピックなどを見据え、今後10年を想定し、インバウンド拡大への対応や利用の質の向上に資する具体的なアクションを実施するため、関係団体・機関によるプロジェクトミーティングを開催し、支笏湖での「おもてなしの地域づくり」について検討した。
- 【日時】 平成30年4月19日、5月15日、7月10日、8月16日、9月3日、10月22日～25日、11月22日、12月25日、1月18日、2月12日
- 【場所】 千歳市支笏湖温泉街
- 【主催】 国立公園支笏湖運営協議会
- 【協力】 支笏湖温泉組合、支笏湖ビジターセンター、千歳観光連盟、千歳市、国土交通省北海道開発局、環境省支笏湖自然保護官事務所、札幌大通りまちづくり会社（株）、シーニックバイウェイ支援センター
- 【参加人数】 各18名



▲会議の様子



▲国際大学とのフィールドワーク



▲外部専門家（マイクハリス氏）：アクティビティプログラム開発ワークショップ

道路周辺等の雑木駆除を生かした観光振興実験

【概要】シーニックバイウェイによる沿道の景観清掃活動の中で目に付いた道路の景観を阻害する胡桃の木等を撤去する活動を兼ねて、友の会では自発的に遊歩道に杖を設置した。

【日時】平成30年6月11日

【場所】洞爺湖周辺(国道230号沿い)

【主催】NPO法人
有珠山周辺ジオパーク友の会

【協力】室蘭開発建設部

【参加人数】30名



- 【概要】 支笏洞爺ルートの方々と各エリアの秀逸な道区間のルート視察を実施。第1回は洞爺湖エリアにて実施、国道230号の「道の駅」とうや湖から道道洞爺湖登別線交差点までの13.9km (KP87.3~101.2) における秀逸な道について、ルートの方々に現地を見て頂き、景観改善の手法等について意見交換を行った。
- 【日時】 平成30年6月21日 (木)
- 【場所】 洞爺湖エリア (国道230号)
- 【主催】 支笏洞爺ニセコルート 代表者会議
- 【参加人数】 21名



1008 453(とうや よごさん)キャンペーン2018

【概要】従来の国道453号沿線の清掃活動を拡大し、洞爺湖一周の道道・国道の号数の和が1008となり「とや」の語呂が合うことから、沿線の景観を守り美しいドライブルートを創出する一環として洞爺湖での清掃活動を実施した。今年度は、参加者70名が5コースに分かれ、およそ4トンのゴミを回収。また、よごさんキャンペーンの継続展開に向け、地域へのPRを目的として、「コミュニティFM」を活用したPR活動を実施した。

【日時】平成30年9月1日(土)

【場所】伊達市・洞爺湖町・壮瞥町

(国道230号・国道453号・道道578号・道道66号・道道132号・道道2号)

【主催】支笏洞爺ニセコルート 代表者会議(洞爺湖エリア)

【参加人数】70名

開会式



「ゴミを」すてないで下さい



▼コミュニティFMでの放送出演



※wi-radioは、伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町の1市3町から構成されるコミュニティFMであり、地域情報発信を目的として設立され、NPO法人だて観光協会が事務局を勤める。

晴天に恵まれ、一生懸命清掃活動を行いました

- 【概要】 「新緑の真狩を歩こう」をコンセプトに毎年、5月下旬に開催されるフットパスイベント。羊蹄山を目の当たりにしながら、村内の景観スポットや水辺、神社等、約7kmをのんびりとガイド付きで歩くことで、今まで気づかなかった“真狩村の資源の豊かさ”を再確認できる。散策後には、参加者同士の交流会としてジンギスカンを食し、さらなる交流を深める恒例かつ初夏の人気行事となっている。
- 【日時】 平成30年5月27日（日）9:00～14:00
- 【場所】 道の駅 真狩フラワーセンター(起終点)→真狩神社→真狩フラワーセンター 計7km
- 【主催】 NPO法人しりべつリバーネット 【協力】 真狩村&地域おこし協力隊
- 【参加人数】 約100名



佐々木和見村長



牧野純二代表

主催者挨拶



道の駅から羊蹄山を眺めながらの散策



細川たかし記念像周辺は一面黄色に



恒例の交流会(ジンギスカン)

4万本のユリでお出迎え「まっかりフラワーロード」

- 【概要】 「まっかりフラワーロード」は、道道66号沿線、留寿都村境から真狩村市街まで「花ユリ」が道ゆく観光客等を大いに歓迎する「フラワーロード」として、真狩の夏の風物詩として定着。植栽にあたっては、約4万球の花ユリを村づくり研究会会員と村内外有志が行い、住民一体となった事業として取り組みました。平成6年から始まり、今年で25年目を迎え、今回は約100名が参加し、約2km区間に約4万球のユリの球根を植えました。
- 【日時】 平成30年6月3日（日） 13:00～15:30
- 【場所】 真狩村光地区道道岩内洞爺線（66号）沿い（集合場所：道の駅真狩フラワーセンター） 約2km
- 【主催】 村づくり研究会 【後援】 真狩村、真狩村商工会、真狩村観光協会
- 【参加人数】 約100名



佐々木和見村長



羊蹄山を眺めながらの球根植え



道路沿道に4万球の球根を等間隔で植えていく



満開時(例年8月上旬)



佐伯 秀範 会長

主催者挨拶

5町連携による尻別川・羊蹄山周辺合同維持管理（草刈等）

【概要】今年度で7回目の取組み。従来、各団体が個別に行ってきた清掃活動を拡大し、羊蹄山麓周辺3町村（京極町・喜茂別町・倶知安町）に加え、今年度あらたに2町村（ニセコ町・真狩村）協力のもと、尻別川や羊蹄山という資源を守り、美しいドライブルートを創出する一環として、合同維持管理作業を実施した。団体の抱える高齢化等の問題に対し地域一体で取組を進めたことが成果として残る一方、実施に係る費用の捻出方法が今後の課題である。

【日時】平成30年7月24日（火）

【場所】京極町、倶知安町、喜茂別町のビューポイントパーキング周辺（計3か所）

【主催】支笏洞爺ニセコルート ニセコ羊蹄エリア代表者会議
NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会
京極町景観を考える会/NPO法人きもべつWAO
（株）ニセコリゾート観光協会/村づくり研究会

【参加人数】約50名



毎年恒例、草刈後の懇親会(ジンギスカン)の様子



京極町更進地区の様子



喜茂別町相川地区の様子



倶知安町八幡地区の様子

シーニックビューポイント「みらいの森」育樹活動

【概要】今年度新たに、ニセコ羊蹄エリアにシーニックバイウェイビューポイントを創出した。ニセコ町「みらいの森」では、羊蹄山の美しい景色を楽しみながら、将来の森林環境づくり及び育樹に関わる人材育成などを目的として、各種活動を展開していく予定。北海道150年を記念したオープニングセレモニーでは、後志総合振興局、小樽開発建設部、ニセコ町、シーニック団体等々、総勢50名の有志が集って、お祝いと桜の木の育樹を実施。育樹会の冒頭、振興局 勝木局長、小樽開建 橋本部長、ニセコ町 片山町長、地域を代表して古谷代表の挨拶と続き、その後、新設された「みらいの森」看板の除幕式も執り行われた。

【日時】平成30年9月29日（土）

【場所】みらいの森（ニセコ町）

【主催】支笏洞爺ニセコルート ニセコ羊蹄エリア代表者会議
NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会/
(株)ニセコリゾート観光協会ほか

【参加人数】約50名



終了後の懇親会(シンギスカン)の様子



全体集合写真



新設した「みらいの森」看板 除幕式の様子



育樹会の様子

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)	報告者:ウェルカム北海道エリア代表 泉谷 清	報告年月:2019/3/31
-------------------------------	------------------------	----------------

活動団体
<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ ・えにわシーニックプロジェクト ・社団法人 千歳青年会議所 ・NPO法人まちづくりスポット恵み野 ・国立公園支笏湖運営協議会 ・地域FM放送局e-niwa (計6団体)

ルート運営体制(活動団体)
<p>●エリア代表者会議の運営 (構成) (代表)エリア代表 平成17年・20・23・24・25・26・27・28・29年・30年 泉谷 清(えにわシーニックプロジェクト) 平成18年・21年・22年 白石 一人(NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ) 平成19年 佐藤 哲也(社団法人 千歳青年会議所)</p>

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営 に関わる事 項	エリア運営(事務局体制:スケ ジュール調整など)						● 9月14日 恵庭							
	ルート運営代表者会議			○ 6月21日 (第1回) 洞爺湖			○ 9月4日 (第2回) 喜茂別	● 10月2日~3日 (ルート審査員 視察) 札幌	○ 11月26日~27 日 (道央道南B) 札幌	○ 12月19日 (第3回) 洞爺湖			● 3月26日 (第4回) 恵庭	
	エリア代表者会議				● 7月10日 (第1回) 千歳						● 1月15日 (第2回) 千歳		● 3月26日 (第3回) 恵庭	
	シーニックナイト2019									● 12月19日 恵庭				
	検討会・勉強会など	● 4月24日 (第1回花ロード 実行委員会)											● 2月5日 (第2回花ロード 実行委員会)	

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:札幌開発建設部	報告年月:2019/3/31
------------------	-------------	----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営 に関わる事 項	行政連絡会議の実施	● 4月24日 (第1回花ロード 実行委員会)			● 7月10日 (第1回) 千歳					○ 12月19日 (第3回) 洞爺湖	● 1月15日 (第2回) 千歳	● 2月5日 (第2回花ロード 実行委員会)		

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:洞爺湖エリア代表 高階 明修	報告年月:2019/3/31
--------------------------	--------------------	----------------

活動団体
一般社団法人 洞爺湖温泉観光協会、ゆったリズム体験倶楽部、NPO法人 洞爺にぎわいネットワーク、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会、そうべつくだもの村、NPO法人そうべつ観光協会、NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会、(以上7団体)

ルート運営体制(活動団体)
(1)洞爺湖エリア代表者会議 シーニックバイウェイに参加する活動団体の連携が図りやすいように、「洞爺湖エリア代表者会議」を組織し、エリア内の連携を主として活動を行います。
(2)洞爺湖エリア代表者会議の運営 【構成】エリア代表者会議は、エリアの各活動団体の代表者により構成します。(各活動団体の代表者の代理人の出席を認める) 【エリア代表者会議の位置づけ】 ・エリア代表者会議は、エリアの運営の決定機関とします。 ・エリアの短期的・長期的運営について議論する機関とします。 ・エリア運営活動計画は、エリア代表者会議で決定します。 【代表】エリアの代表を1名選出し、その一人が支笏洞爺ニセコルート代表を兼任します。

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営 に関わる事 項	ルート運営代表者会議			○ 6月21日 (第1回) 洞爺湖			○ 9月4日 (第2回) 喜茂別	● 10月2日～3日 (ルート審査員 視察) 札幌	○ 11月26日～27 日 (道央道南B) 札幌	○ 12月19日 (第3回) 洞爺湖			● 3月26日 (第4回) 恵庭	
	エリア代表者会議		● 5月23日 (第1回) 壮瞥町											
	胆振サイクリングワークショップ など									● 12月6日 (第1回サイク ルWS) 室蘭市			● 3月18日 (第2回サイク ルWS) 洞爺湖町	
	シーニックナイト2019									←事務打合せ	→地域内調整	● 1月26日～2 月10日:実施		
	1008 453 キャンペーン 2018 /道路周辺等の雑木駆除を生 かした観光振興実験			● 6月11日 国道沿道の雑 木除去活動				● 9月1日 1008 453 キャン ペーン 2018	展開(沿道の雑木除去、加工品の制作・研修会など)					

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:室蘭開発建設部	報告年月:2019/3/31
--------------------------	-------------	----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営 に関わる事 項	行政連絡会議・協働型道路管理 マネジメント会議の実施			● 6月13日 行政連絡会議		● 8月8日 協働型会議①							● 3月14日 協働型会議②	

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)	報告者:ニセコ羊蹄エリア代表 後藤田 紘	報告年月:2019/3/31
----------------------------	----------------------	----------------

活動団体
共和町商工会青年部、京極町景観を考える会、NPO法人きもべつWAO、村づくり研究会、NPO法人しりべつリバーネット、ニセコ広域観光委員会、NPO法人ニセコまちづくりフォーラム、NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会、(株)ニセコリゾート観光協会、らんこしWAO、るすつWAO、北海道ワイン道と緑を守る会、WAN寿都(以上13団体)

ルート運営体制(活動団体)
<p>(1)ニセコ羊蹄エリア代表者会議 シーニックバイウェイに参加する活動団体の共通意識の醸成やお互いの活動に対する理解を図るために、「ニセコ羊蹄エリア代表者会議」を組織し、エリア内の連携を主として活動を行います。</p> <p>(2)ニセコ羊蹄エリア代表者会議の運営 【構成】エリア代表者会議は、エリアの各活動団体の代表者により構成します。(各活動団体の代表者の代理人の出席を認める) 【エリア代表者会議の位置づけ】 ・エリア代表者会議は、エリアの運営の決定機関とします。 ・エリアの短期的・長期的運営について議論する機関とします。 ・エリア運営活動計画は、エリア代表者会議で決定します。 【代表】エリアの代表を1名選出し、その一人が支笏洞爺ニセコルート代表を兼任します。 ●ニセコ羊蹄エリア代表:後藤田 紘(京極町景観を考える会)</p>

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営に関わる事項	ルート運営代表者会議			○ 6月21日 (第1回) 洞爺湖			○ 9月4日 (第2回) 喜茂別	● 10月2日~3日 (ルート審査員 視察) 札幌	○ 11月26日~27日 (道央道南B) 札幌	○ 12月19日 (第3回) 洞爺湖			● 3月26日 (第4回) 恵庭	
	エリア代表者会議			● 6月7日 (第1回) 喜茂別町		● 8月7日 (寿都町参入 に向けた打合 せ) 寿都町								
	シーニックナイト2019								←事務打合せ	→地域内調整		● 1月26日~2月16日:実施		
	タカラモノプロジェクト2018							←	→	→				継続展開中(道の駅ほか、情報拠点での市場調査など)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:小樽開発建設部	報告年月:2018/3/31
------------------	-------------	----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営に関わる事項	行政連絡会議・協働型道路管理マネジメント会議の実施							● 10月25日 行政連絡会 議 倶知安町		● 12月18日 協働型会議①		● 2月26日 協働型会議②		

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)	報告者:札幌開発建設部	報告年月:2019/3/31
-------------------------------	-------------	----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	平成30年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
来訪者をもてなすウェルカムルートの創出 北海道らしい清らかな水を印象づけるみちづくりの促進	・「道道恵庭岳公園線植えるカム花ロード」の主催及び協力	平成30年6月16日	・恵庭市 ・北海道空知総合振興局札幌建設管理部千歳出張所	・昨年に引き続き、活動団体、地域住民、千歳土木現業所と連携し、恵庭インターチェンジより市街地に向かい中央分岐帯の植樹及び、雑草除去を主催 ・花苗等、物資の準備、運営を行う。 ・昨年に引き続き、花のじゅうたんプロジェクトとして助成。4カ年限定の事業であったが、継続した支援体制を続けている。	・沿道景観の整備(花植え、清掃)にかかる活動に対する行政の協力が確立してきており、良好な連携体制が築かれている。 ・平成30年度は、昨年に引き続き、環境省と連携した「国立公園満喫プロジェクト」の支援や、河川管理者が取り組む「かわたび北海道」と連携した水辺の調査など、活動支援の幅が広がっている。 ・今後も、各行政機関連携のもと、活動団体の意向に対する調整や支援メニューの提案など、密な連携が望まれる。 また、千歳ウェルカム花ロードは16年目を迎え、千歳市民を始め全道・全国へのPRとなる情報発信に努め、特別授業の実施や、地下歩行空間での展示などに取り組んだ。	1
	・「453・530(ヨゴサン・ゴミゼロ)キャンペーン」のゴミ処理、清掃用具の提供等	平成30年5月30日 平成30年9月28日	・千歳市 ・札幌開発建設部 千歳道路事務所 ・支笏湖自然保護官事務所	・ボランティア・サポートプログラムに(VSP)により、ゴミ処理を支援 ・VSP手続きの他、活動運営等をサポート ・人的支援として、清掃活動に参加 ・ボランティア・サポートプログラムを導入、清掃用具を提供。 ・人的支援として、清掃活動に参加 ・人的支援として、清掃活動に参加 ・今後、環境の日や自然公園クリーンデーとの清掃活動の連携も考えられる		2
	・「千歳川眺望ポイントの調査」の実施	平成30年11月20日	・札幌開発建設部 千歳河川事務所	・活動団体と連携し、千歳川の眺望調査を実施 ・引き続き、「シーニックバイウェイ」と「かわたび」で連携し、水辺の地域資源の発掘・有効活用を検討する		3
	・「千歳ウェルカム花ロードver16」の運営支援 ①地下歩行空間におけるPR展示 ②土起こし ③花ロード特別授業(千歳市立緑・千歳小学校) ④花植え ⑤除草 ⑥撤去作業	平成30年 ①5月11日～21日 ②5月10・11・17・18・21日 ③④5月22日 ⑤7月10日・8月28日 ⑥10月30日	・千歳市 ・札幌開発建設部 千歳道路事務所 ・北海道空知総合振興局札幌建設管理部	・平成21年度より実行委員会の構成機関として参加。 ・受付窓口として、市内全小学校への周知、及び、一般参加者の募集等を担当。 ・小学校(教育委員会)との連携や、フラワーマスター等の関係機関との調整。 ・ボランティアサポートプログラムにより、国道36号の植樹マスへの植栽・草刈り実施。 ・小学校による花ロード特別授業の講師を実施 ・地域協働プロジェクトとして、同取り組みを実施(国道区間)。 ・H21年度より実行委員会の構成機関として事務局運営を担当。 活動全般に関する企画・運営支援、関係行政機関、団体等との調整。 ・ボランティアサポートプログラムにより国道36号の植樹マスへの植栽・草刈りを実施。 ・花ロード活動の広報支援。PR展示(地下歩行空間)の企画・調整・実施 ・小学校による花ロード特別授業の講師を実施 ・道道千歳インター線において、植栽活動を実施。 ・植栽後の維持管理が課題(小学生や地域との連携を考えたが、安全面の問題があり難しい。現在も、月1回実施しており、行政側の対応としては限界という状況) ・企業参加及び一般参加者を増やす取組が必要。		4
地域資源の発掘と保全活用					環境省が展開する国立公園満喫プロジェクトの共同実施者として、支笏湖での「おもてなしの地域づくり」ミーティングに参加。各機関の立場からの助言を行った。	4
地域の資源を活かしたコミュニティビジネスの創出						
交流と連携による地域づくりの推進	国立公園満喫プロジェクト「おもてなしの地域づくり」ミーティングへの参加	4月19日、5月15日、7月10日、8月16日、9月3日、10月22日～25日、11月22日、12月25日、1月18日、2月12日	・環境省 ・千歳市 ・札幌開発建設部	・環境省が展開し、地域団体が受託した国立公園満喫プロジェクトの共同事業者として、支笏湖での「おもてなしの地域づくり」ミーティングに参加し、各機関からの助言を行った。		
エリアの魅力伝えるイベントなどの開催	支笏湖マップ増刷・配布					5
エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	・各ホームページ等による情報発信	平成29年度	・北海道	・道路課のトップページにて、シーニックバイウェイ北海道のパナーを掲載。	・地下歩行空間を拠点に、市内、道内、道外からの観光客をターゲットに、札幌都心部において年間を通じてルートの認知度向上のためのPR活動を積極的に実施した。地域内外でルート認知向上をはかり、地域の人々の理解と関心を深めるために積極的に支援を行った。 ・今後も、行政機関等と連携し、活動団体と協働で企画や調整、参加、相談などの支援、情報発信、提供による支援も継続して行っていく。	6
		平成29年度	・札幌運輸支局	・札幌運輸支局ホームページトップページにて、シーニックバイウェイ北海道のパナーを掲載。		
		平成30年度	・札幌開発建設部	・H19年度より、さっけんホームページにおいてシーニックバイウェイ制度やルートに関する情報を掲載。		
	平成30年度	・恵庭市	・ルート連携活動「シーニックナイト2019～寒さ忘れる冬の夜～」実施のための除雪支援、市役所ボランティアによる活動参加。			
	平成30年度	・千歳市	・ルート連携活動「シーニックナイト2019～寒さ忘れる冬の夜～」実施のためのキャンドル費用を支援			
・「シーニックナイト2019～寒さ忘れる冬の夜～」への後援及び活動PR ・除雪協力	平成30年度	・北海道石狩総合振興局地域政策課ほか行政連絡会議関係機関	・ホームページにて、ルート連携活動「シーニックナイト2019～寒さ忘れる冬の夜～」の活動周知のための情報を掲載。(石狩の風景にて、実施の様子を掲載)。シーニックナイトのポスター掲示。	7		
・「シーニックナイト2019～寒さ忘れる冬の夜～」への後援及び活動PR ・除雪協力	平成31年1月26日～2月17日	・札幌開発建設部、小樽開発建設部、室蘭開発建設部、千歳道路事務所、滝野すずらん丘陵公園事務所ほか	・ルート連携活動「シーニックナイト2019～寒さ忘れる冬の夜～」において、取り組みの「後援」及びポスター・チラシの配布など活動のPRを支援。 ・国道36号(恵庭バイパス)における除雪協力 ・職員有志が、個人サポーターとなり、取り組みを応援。	8		
★地下歩行空間におけるシーニックバイウェイ北海道PR	平成30年度	・札幌開発建設部	・地下歩行空間でシェルフバイウェイを使用して、シーニックバイウェイ北海道のPRイベントを開催 ・支笏洞爺ニセコルート紹介や、パネル展示、パンフレット配布			

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)		報告者:室蘭開発建設部		報告年月:2019/3/31			
	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成30年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	洞爺湖に彩を添える	MOVE洞爺湖2018	平成30年4月28日	洞爺湖町	AIR'Gとの協力の下、洞爺湖町が洞爺湖温泉街の花壇整備・清掃活動を2001年から継続展開中。洞爺湖畔のゴミ拾い、彫刻清掃に加えて、花壇整備を行っている。	当該地域では、清掃活動や花壇整備などの景観づくりが行われている。今後も地域住民の「思い」を各関係行政機関が「後押しする・繋げる」などの協働型マネジメントの取り組みにシフトしていくことが必要であると思われる。	1
地域	エリアの資源の保全活用	ジオツアー 有珠山学習会 ー火口原・小有珠・旧登山道巡りー	平成30年5月14日	壮瞥町	有珠山学習会として、銀沼火口周辺散策後、小有珠山頂に登り、北外輪山から壮瞥温泉に下山するツアー。コース案内として友の会ガイド部会、火山マイスターメンバーが担当した。	取り組みの継続に向けた地域活動団体と連携した適切な維持管理体制の構築が必要。	2
	エリアの人材育成	洞爺湖有珠火山マイスター制度の推進	平成30年度	胆振総合振興局	胆振総合振興局は平成20年度より「洞爺湖有珠火山マイスター制度」を推進している。平成27年度は新たに5名が加わり現在40名がマイスターとして認定され活動しており、次第に活動の場が広がってきている。並行して実施している「洞爺湖有珠火山マイスター養成講座」も継続を予定している。		3
観光	「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	「オールいぶり」によるビジットジャパンキャンペーンの展開	平成30年度(継続展開)	北海道運輸局 達市町 伊 豊 浦 洞 爺 湖 壮 瞥 町	運輸局と連携し、北海道登別洞爺広域観光圏が中心となって、ビジットジャパンキャンペーン(以下、VJC)を展開し、観光・集客誘致に向けた取り組みを推進している。 VJCでは、海外のマスコミやエージェンツに対して、また修学旅行等をターゲットとした各種PR活動を展開している。	当該管内では、「洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会」を中心に自治体間や関係行政機関の連携が積極的に図られている。行政としては行政連絡会議や各種取り組みにおいて参加協力及び人的支援等による連携が図られている。	4
	資源と人材を活かしたエコミュージアムの形成	洞爺湖有珠山地域ジオパーク関連ツアー	平成30年度	壮瞥町	ジオサイトとなっている洞爺カルデラの中にある中島を散策する「洞爺湖中島散策会」ほか、有珠山、昭和新山に登山するジオツアーを開催。参加者は、さまざまな分野を学習し、壮大な火山活動が創った有珠山、洞爺湖等、ジオ・エコツアーを楽しんだ。		5
		西いぶりサイクルツーリズム勉強会	①平成30年12月6日 ②平成31年3月18日	胆振総合振興局 洞爺湖町 壮瞥町 室蘭開発建設部	洞爺湖地域におけるサイクルツーリズムの展開に向けて、ワークショップを2回開催。第1回目は、設定するルートの検討や今後必要なことの提案を、第2回目は、設定するルート(案)の整理(試行ルートの設定)などについて意見交換を行った。		
	イベントの企画・運営	洞爺湖温泉イルミネーショントンネル	平成30年度	洞爺湖町	洞爺湖温泉にぎわい広場に延長約70mのトンネルを設置し、LEDなど約40万個の電球で飾る。		6
		シーニックナイト2019	平成31年1～2月	胆振総合振興局 壮瞥町 洞爺湖町 室蘭開発建設部	シーニックバイウェイ北海道・支笏洞爺ニセコルートでの冬の夜を楽しむイベント、「シーニックナイト2019」。一般市民が多数参加し、キャンドルの火を灯すことにより、地域住民及び観光客に対して、広くシーニックバイウェイの取組をPRすることができた。各行政機関も後援などの形で支援を行っている。		7

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成30年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	エリアのシンボルの羊蹄山を彩り美しく見せる	各自自治体での清掃活動	平成30年春	エリア内各自自治体	取り組みは定着しており、地域住民の参加もある程度確保できており、次世代につなぐ取り組みとして若手職員の参画が行われてきている。	各地域で景観づくりや保全の取り組みが定着・浸透しており、行政機関同士の情報共有、情報交換を継続していく。	1
		フラワーロードゆり植え事業	平成30年6月3日	真狩村	ゆりの球根代など経費が高く、村からの助成金負担も大きい。参加者の確保や、土地所有者に頼っている維持管理の協力がいつまで続くかが課題。花の満開時期の沿道草刈りを検討したい。		2
		ビューポイントパーキングの花壇整備・維持管理	平成30年夏	喜茂別町	活動は継続中。行政は人的支援のみで予算手当はなし。		3
		花いっぱい運動	平成30年6月8日	留寿都村	地域住民が約100名参加する地域活動として定着。地元の高校や、小中学校の特殊学級も参加。現在は村が観光協会に委託して花の維持管理がされている。		4
	尻別川など自然豊かな水辺の景観をつくる	尻別川・羊蹄山周辺合同維持管理(ビューポイントパーキングの草刈り等)	平成30年7月24日	京極町、喜茂別町、倶知安町、ニセコ町、真狩村小樽開発建設部	3町から5町に拡大し、活動団体と行政が合同で実施することにより作業の効率化が図られているのは成果である、当面課題であった活動団体の高齢化は若手メンバーの加入により解決している。		6
		尻別川クリーン作戦	平成30年6月16日	蘭越町、後志総合振興局、小樽開発建設部	清掃作業のみならず、作業終了後の地域交流会が実施されている。		7
	地域	歴史や文化資源を含めた地域資源の発掘と活用	フットパス体験(ニセコ、真狩)	平成30年5月27日	真狩村		既存コースを活用し住民参加型で地域資源の魅力発掘を実践。今後の進め方は協議会で検討していく。
地域コミュニティを大切にしたい地域づくりの推進		シーニックバイウェイのパネル展	平成30年度	小樽開発建設部	管内の生産者と消費者との交流を目的に小樽市内で開催されているイベント(後志収穫祭)と連携し、ドライブ観光の促進としてシーニックバイウェイや道の駅を来場者に紹介。効果検証が今後の課題。	管内を訪れる国内外観光客に対し、地域の魅力を発信するため、自治体・「道の駅」などと連携したPR活動を行っている。	9
		シーニックナイト2019	平成31年1～2月	管内6市町村、小樽開発建設部、倶知安開発事務所	行政は人的支援と広報協力によって活動団体をサポート。		10
地域の人材育成と活用	羊蹄山麓広域景観づくり検討会議	平成30年度	羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会、小樽開発建設部	協議会事務局にて、継続して行動計画を策定中。	今後、羊蹄山麓広域景観づくり検討会議とSBWの連携を深め、景観を通じて広域連携の取り組みを実施していく。	11	
観光	エリアのきめ細やかな情報発信	しりべしシステム事業との連携(HP等の媒体活用)	平成30年度	後志観光連盟、小樽開発建設部	「しりべしシステム」の地域だよりで発信する情報を、各自自治体等から提供。	地域の魅力を発信するため、自治体・「道の駅」などと連携したPR活動をおこなっている。	12
その他	環境に対する取り組みの推進	エキノコックス駆除活動	平成30年度	倶知安町、京極町、蘭越町、ニセコ町、喜茂別町、真狩村	散布するペイトの経費を町が負担している。	5自治体(蘭越、ニセコ、喜茂別、京極、倶知安)にて予算付けされ、地域全体の取り組みとして認知されてきた。	13